

ご 挨拶

日本心身医学会中国・四国地区会員の皆様
本学会および本大会の関係者の皆様

第 45 回日本心身医学会中国・四国地方会
大会長 板東 浩

謹啓 このたび、第 45 回日本心身医学会中国・四国地方会のお世話役を拝命しました徳島県の板東浩です。私の師匠は聖路加国際病院の日野原重明先生であり、長年にわたり日本内科学会や日本プライマリ・ケア連合学会、日本バイオミュージック学会、日本音楽療法学会などでご指導を受け、先生が主宰された「新老人の会」の活動も続けております。機会があれば、先生の哲学である「Hinohara-ism」を発信させて頂いております。

本大会は、中国・四国支部長の岡田宏基先生と相談しながら進めて参りました。大会の実行委員長を徳島大学大学院の宇都義浩教授にお願いし、従来とは異なる、特徴的な大会にさせて頂きたいと思っており、大会特徴の三点をお示し致します。

まず、心身医学は全人的医療であり、生物・心理・社会的(bio-psycho-social)視点が重要です。今回のテーマは「心身医学と医療・文化との関わり」とさせて頂き、医療や芸術、文化、産学など広い領域から、impressive な内容を準備しており、「医学」を「医楽」と表しています。

二点目は抄録集についてです。通常の学会抄録とは違うスタイルで、各演者において、業務や芸術、スポーツ、趣味、社会的活動などを含めた内容となっています。さらに、座長の先生についても魅力ある内容をまとめて頂き、ほかにはみられないようなカラー印刷の抄録集と致します。おそらく、今後もいろいろな機会にお役に立つ資料となることと存じます。

三点目は準備から当日までについてです。昨年秋からただちに準備を開始しており、おむね青写真が完成してきております。ただ、本大会は単に心身医学の領域だけではなく、徳島大学や徳島県、徳島の特徴的な芸術文化の組織をも包含したマネジメントを進めている途中です。そのため、早期からスタートしておりますが、様々な確認作業が必要であり、皆さまへのご挨拶と大会フライヤーの発送がこのような時期になってしまったことをお詫び申し上げます。これに関連し、現時点でプログラムの内容およびタイムスケジュールの確定が難しい状況です。ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。概要を別ページにお示し致します。

以上、気候がよい秋季に、皆様のご来徳を楽しみにしております。

第 45 回日本心身医学会中国・四国地方会実行委員会
大会長 板東浩（徳島大学非常勤講師）
実行委員長 宇都義浩（徳島大学大学院 社会産業理工学研究部）